



# 2026年5月期 中間期 決算説明

東証スタンダード市場 証券コード 4465

2026年1月22日

## 目次

I.	2026年5月期 中間期 概要	P 2
II.	2026年5月期 業績予想修正	P 11
III.	appendix	P 17

## ▶ 2026年5月期 中間期 概要

## 2026年5月期 中間期 業績サマリー

- 洗剤等が堅調に推移したことにより増収
- ケミカル事業における製品売上の拡大、原価の低減等により増益

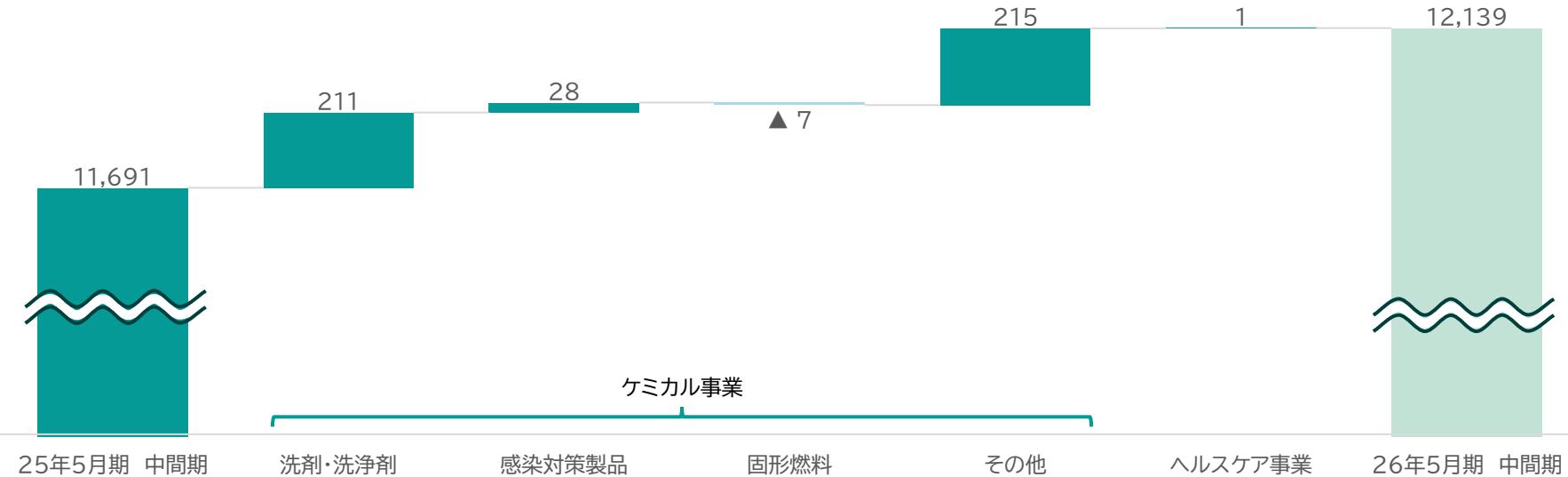
(百万円)	2025年5月期 中間期 実績	2026年5月期 中間期 実績	増減額	増減率
売上高	11,691	12,139	448	3.8%
売上原価	7,403	7,604	200	2.7%
売上総利益	4,287	4,534	247	5.8%
販売費・一般管理費	3,408	3,390	▲17	▲0.5%
営業利益	878	1,144	265	30.2%
営業利益率	7.5%	9.4%	1.9pt	-
経常利益	905	1,200	294	32.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	608	912	304	50.0%

## ▶ 2026年5月期 中間期 概要

## 連結売上高 増減要因

- 外食市場が堅調に推移したことによる洗剤需要の増加
- 食中毒対策(特に冬場に流行する感染性胃腸炎など)に適応した製品が伸長

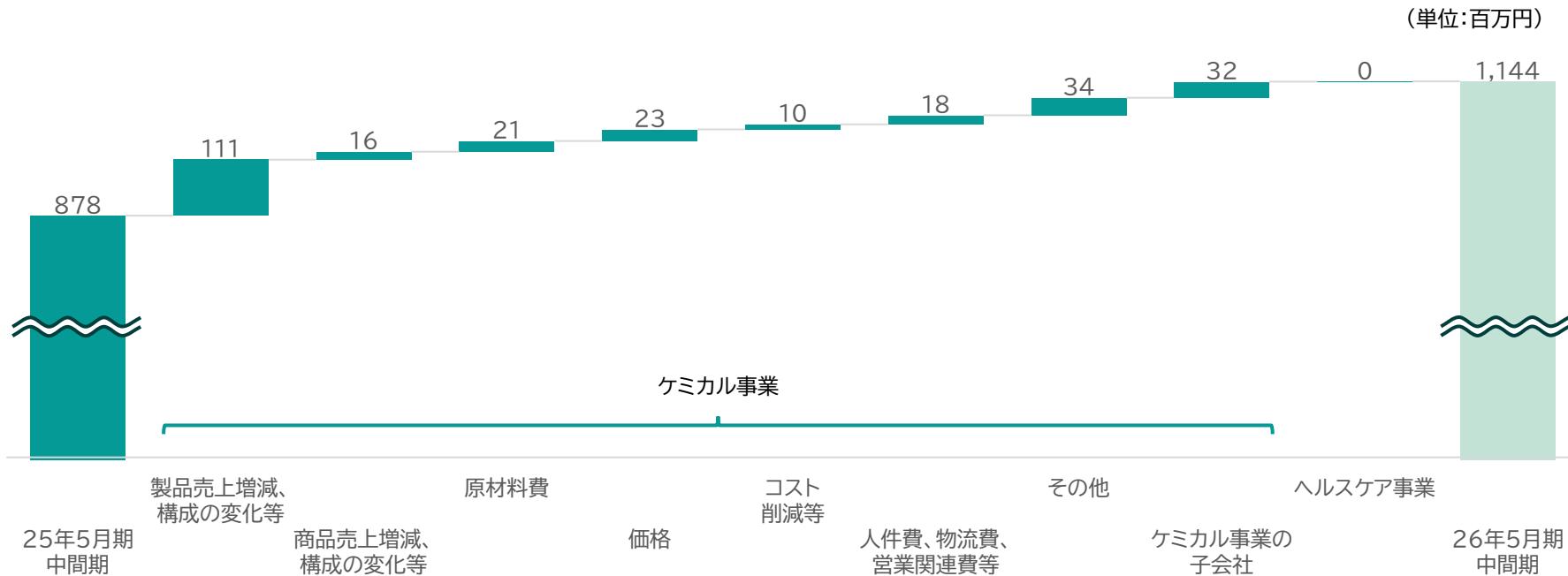
(単位:百万円)



▶ 2026年5月期 中間期 概要

## 連結営業利益 増減要因

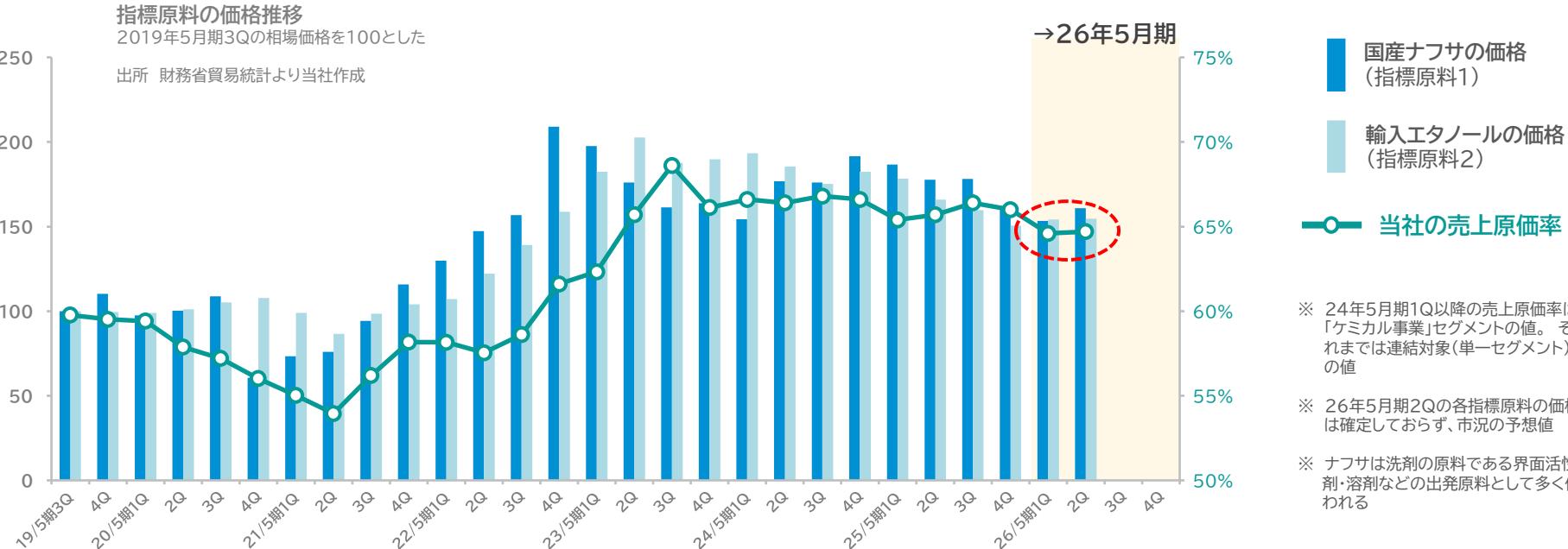
- ケミカル事業における製品売上拡大、原価の低減等により増益



▶ 2026年5月期 中間期 概要

## ケミカル事業 原材料価格の動向

- 原材料価格は期初予想より落ち着いて推移



▶ 2026年5月期 中間期 概要

## セグメント別実績(売上高/営業利益/営業利益率)

ケミカル事業は增收増益。ヘルスケア事業は前年並みで推移

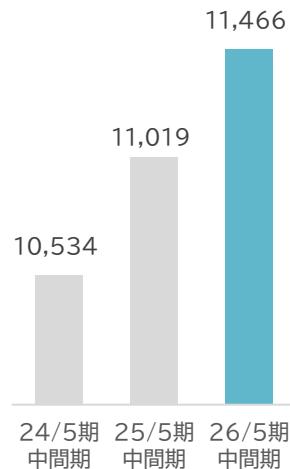
(百万円)	2025年5月期 中間期 実績	2026年5月期 中間期 実績	増減額	増減率
売上高	11,691	12,139	448	3.8%
ケミカル事業	11,019	11,466	446	4.1%
ヘルスケア事業	671	673	1	0.2%
営業利益	878	1,144	265	30.2%
ケミカル事業	730	996	265	36.3%
ヘルスケア事業	147	148	0	0.3%
営業利益率	7.5%	9.4%	1.9pt	-
ケミカル事業	6.6%	8.7%	2.1pt	-
ヘルスケア事業	22.0%	22.0%	0.0pt	-

## ▶ 2026年5月期 中間期 概要

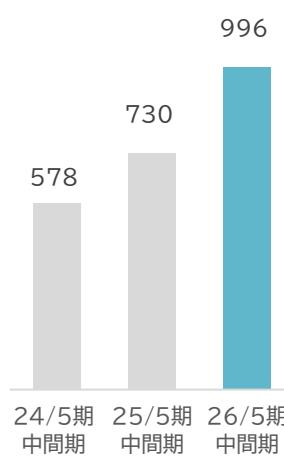
## ケミカル事業 業績概要

- 外食市場が堅調に推移したことによる洗剤需要の増加や、食中毒対策(特に冬場に流行する感染性胃腸炎など)に適応した製品が伸長したこと等により增收
- 製品売上の増加等により増益

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



主な増減要因

(売上高)

- 增收 洗剤、感染対策製品

- 減収 固形燃料

(営業利益)

- 増益 製品売上、原材料費

▶ 2026年5月期 中間期 概要

## ケミカル事業 トピックス

- 人手不足課題に対応した洗浄剤が大手外食チェーン店で採用
- 衛生管理セミナーでの集客に成功（2025年9月）

ほったらかしでキレイ 「ケミファインクイックすすぎ」



171名を集客。感染症セミナー(東京)

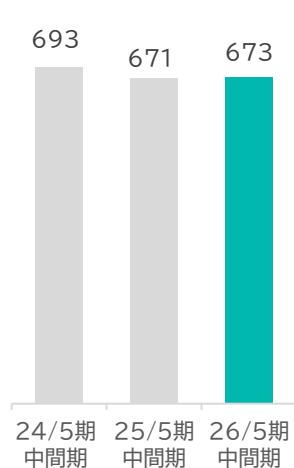


## ▶ 2026年5月期 中間期 概要

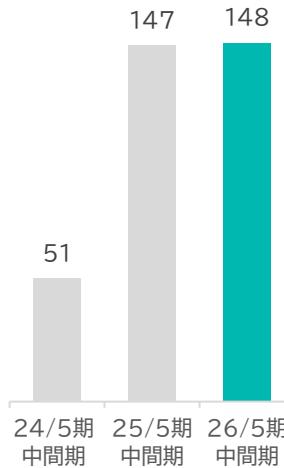
## ヘルスケア事業 業績概要

- 国内売上は減収、海外売上は北米での関税影響を見越した駆け込み需要により増収
- コストダウン等により減益要因を吸収

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



主な増減要因

(売上高)

- 増収 海外
- 減収 国内

(営業利益)

- 増益 製品売上(海外)、運賃
- 減益 製品売上(国内)、研究開発費

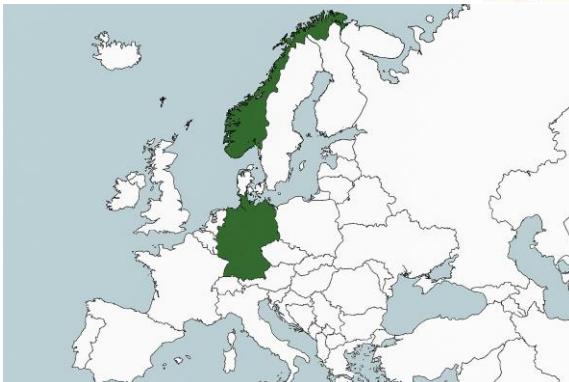
▶ 2026年5月期 中間期 概要

## ヘルスケア事業 トピックス

- 新規国開拓 欧州でドイツ、ノルウェーでの販売を開始。ギリシャでの販売登録が完了。
- アメリカ代理店の強い要望により、ペーストタイプを製品化、出荷開始。

### ヨーロッパで新規販売開始

ノルウェー 2025年11月



ドイツ 2025年10月

アメリカ市場に投入 ペーストタイプ(少量パウチ)



30パウチ入りパッケージ



# 2026年5月期 業績予想修正

## ▶ 2026年5月期 業績予想修正

## 業績予想修正サマリー

- ヘルスケア事業の減益をケミカル事業の増益で吸収
- 非中核事業である子会社株式を譲渡し、特別利益として子会社株式売却益を計上

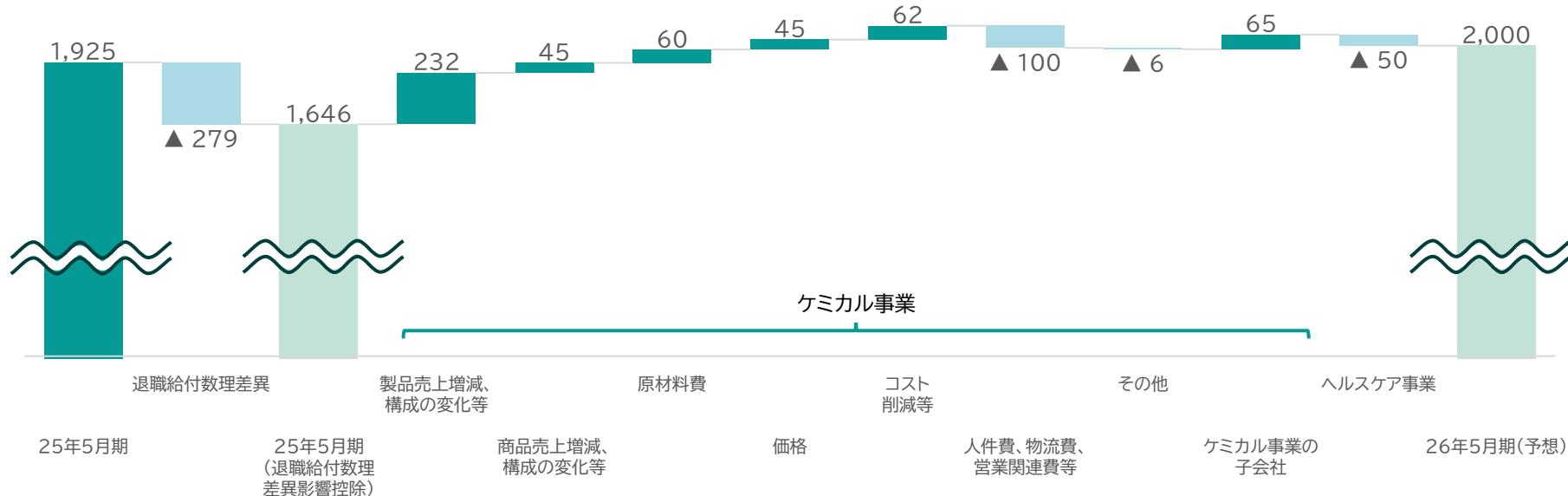
(百万円)	2026年5月期 予想(期初)	2026年5月期 予想(今回)	対期初予想 増減額	対期初予想 増減率	参考) 2025年 5月期 実績
売上高	25,000	24,850	▲150	▲0.6%	23,714
ケミカル事業	23,400	23,500	100	0.4%	22,228
ヘルスケア事業	1,600	1,350	▲250	▲15.6%	1,486
営業利益	1,700	2,000	300	17.6%	1,925
ケミカル事業	1,420	1,770	350	24.6%	1,647
ヘルスケア事業	280	230	▲50	▲17.9%	277
経常利益	1,730	2,080	350	20.2%	1,953
親会社株主に帰属する当期純利益	1,100	1,500	400	36.4%	1,805

▶ 2026年5月期 業績予想修正

## 予想営業利益の増減要因(修正後)

- ケミカル事業における原材料費、人件費、物流費、営業関連費等の低減により増益修正

(単位:百万円)



▶ 2026年5月期 業績予想修正

## ケミカル事業 見通し

- 戰略に基づいた営業活動が進み、売上は好調に推移する

洗剤・衛生サービスは好調



- 人手不足課題に対応した洗浄剤が好調
- 衛生セミナー開催で給食事業者との商談進む

感染対策製品、固形燃料は  
増加に転じる



- 感染対策製品は食中毒対策製品が伸長。2Qで增收に
- 固形燃料は外食向けが伸長

▶ 2026年5月期 業績予想修正

## ヘルスケア事業 見通し

- 国内向けは苦戦、海外向けも伸び悩み。それぞれテコ入れをはかる

国内向けは苦戦



- 立て直しに向け、配信広告のターゲット層を見直し
- 高級感を引き立てる商品パッケージに変更

海外向けも伸び悩み



- 北米 トランプ関税駆け込み需要の反動影響が続く
- 中国、韓国での新規販売をめざす

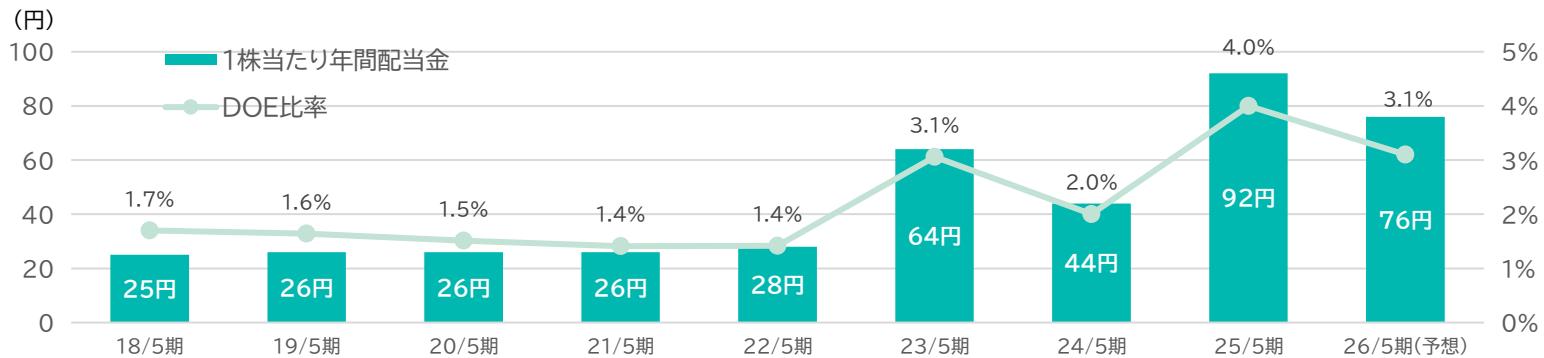
## ▶ 2026年5月期 業績予想修正

## 株主還元

- 2026年5月期の年間配当は76円を予定

## 配当政策の基本方針

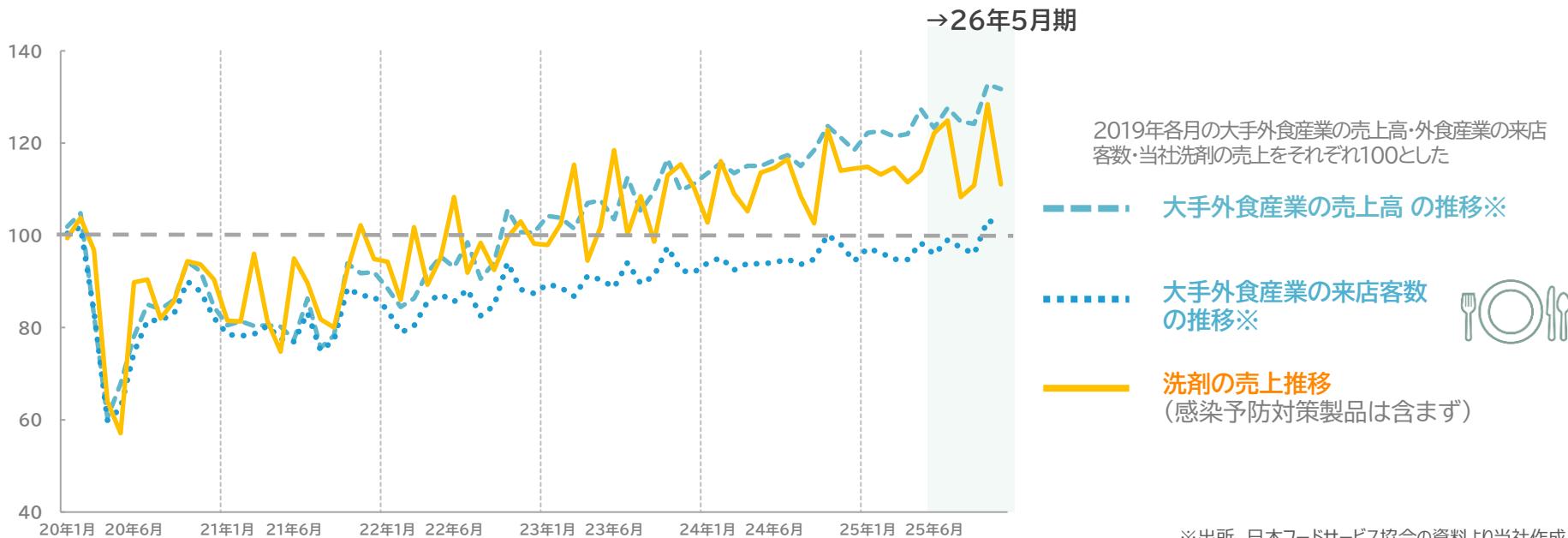
- ①DOE3%以上
- ②機動的な自社株買い



# appendix

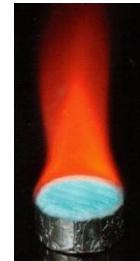
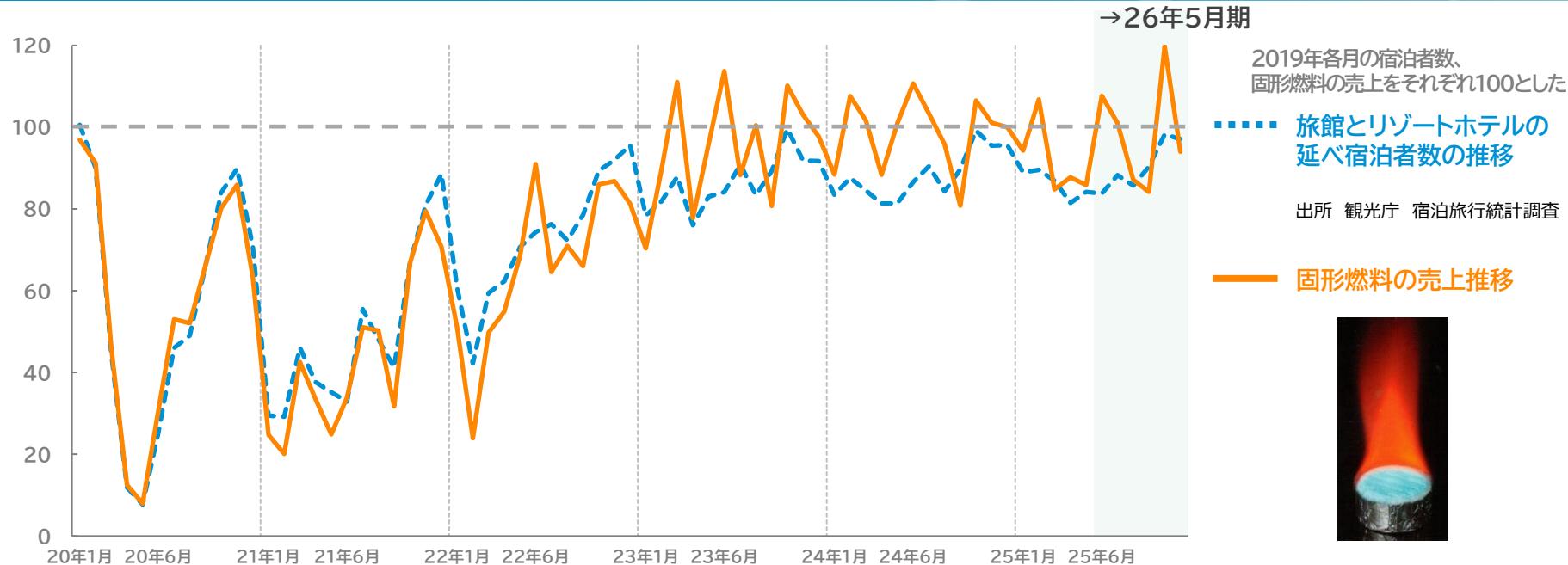
## ▶ appendix

## 外食売上高・来店客数と洗剤売上との関係性



► appendix

## 宿泊者数と固形燃料売上との関係性





## 世の中の“キレイ”を支える会社

本資料に記載されている業績見通し等の将来に係る記述は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいていますが、リスクや不確定要素を含んでおり、実際の数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

【お問合せ先】

経営企画室

MAIL: [ir@niitaka.co.jp](mailto:ir@niitaka.co.jp) TEL: 06-6391-3219